

第7回災害対策本部での主な知事の発言

- 発災から丸2日が経過し、15時時点で、お亡くなりになった方は計73名となった。
- 要救助者の生存率が急激に低下されている。「72時間の壁」まで24時間を切っており、夜間ではあるものの、引き続き、被害状況の把握、人命救助、物資の配送、道路、電気、通信などのインフラ確保に全力を挙げてほしい。
- 昨日に続き、先ほども、岸田総理、林官房長官、松村防災担当大臣と情報共有し、私からは、①人命救助最優先、②孤立集落への対応、③物資や仮設トイレの確保・配送、④通信の確保、⑤道路の復旧、⑥被災市町への人員派遣などについて、要請した。
- 水や食料など、生存に不可欠な物資については、本日から配送が徐々に本格化し、仮設トイレについては、本日も50棟が各地の避難所に届く予定となっている。しかしながら、まだまだ足りていない。
- 特に、外浦沿い等の孤立集落への支援については、引き続き、空路、海路を含め、考えられる手段を総動員し、全力で救助にあたって欲しい。
- 加えて、物資支援がメインとなってきているので、総合力で、プッシュ型での支援をお願いしたい。
- その際は、県から派遣のリエゾン、国からのリエゾンな

ど、人員も増えてきたので、現地と十分に連絡調整をお願いしたい。

- 現在、大雨警報（土砂）が、輪島、穴水、志賀で発表されており、十分警戒するとともに、被災箇所の復旧対応をお願いしたい。
- インフルエンザなど、避難所での罹患を避けるため、保健師や今後派遣予定のJMATの支援も活用しながら、くれぐれも健康管理の支援もお願いしたい。
- 以上のことについて、速やかな情報の共有、県民の皆様への積極的な情報提供をお願いしたい。